

大日本麦酒ほか会社辞令概要

- 1: 文書群番号 090007
- 2: 文書群名 大日本麦酒ほか会社辞令
- 3: 出所 奥田功敏氏
- 4: 家業・役職等 中備銀行常務取締役代理／大日本麦酒■■■
- 5: 地名 ①〈中備銀行〉岡山県都宇郡早島町
②〈大日本麦酒会社〉東京都東京市京橋区銀座
- 6: 行政区分 ①岡山県都宇郡早島町
②東京都東京市京橋区
- 7: 歴史 奥田功敏氏については未詳。
①株式会社中備銀行は、銀行条例・貯蓄銀行条例の制定（明治23年（1890））により銀行設立の機運が高まる中、同29年4月、岡山県都宇郡早島町に設立された。
②大日本麦酒株式会社は39年、競争激化を避けるために日本麦酒・札幌麦酒・大阪麦酒が合同して設立され、業界の支配的企業となった。尼崎所在の同社関連会社として、大物機械製塩会社（大物町）、日本硝子工業株式会社（西向島）がある。
- 8: 伝来 古書籍商より購入。平成14年（2002）9月に整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 15点（目録件数15件）
- 11: 年代 明治33年（1900）～昭和10年（1935）
- 12: 構造と内容 本文書群は奥田功敏なる人物に対して中備銀行、日本麦酒及び大日本麦酒から発令された各種辞令から成り、その期間は明治中期から昭和期に至る。これらの辞令によって、中備銀行常務取締役代理であった奥田が明治36年（1903）退職し、日本麦酒に手代として入社、合併後は大日本麦酒に勤続して昇進を重ね、退職するに至る過程を見通すことができる。このように本文書群は、近代における会社員の採用・昇進・退職の過程を通観出来る一事例と言える。（なお交付先が「書記 奥田功」と記された辞令が一点含まれるが、肩書と氏名がこのように記されていることの背景等は不明である。）
- 13: 関連史料 明治-昭和戦前期大日本麦酒株式会社営業成績一覧表、東亜ペイント製造株式会社昇給辞令
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 島田克彦